

みどりの杜俳句会

山芽吹き動くともなき雲白し

佐山けさ子

黄に芽吹き枝の横揺れ前の山

高橋 きみ

窓に山芽吹きツル折る日を重ね

安田 久子

晴るる日の芋植え手もて土かぶす

河西カナメ

うららかや川にゆらりと鯉泳ぐ

田村 好子

ホールに飾り武者人形の構へ良し

西 ツル

川沿ひにかたまり咲きて二輪草

馬場 芳

前山の日毎若葉の色増ゆる

飯野 トヨ

山桜風にゆるぎてわづか散る

鈴木 啓子

谷の風受け満開の山桜

高橋 ツ子

花冷の夜明節々痛みけり

吉田 愛子

杉ほこに積りすぐ解け春の雪

山崎 才子

餡黄粉添へ手作りの蓬餅

野口利江子

畦道に白たんぽぽの増えにけり

関口 侑子

五月闍狸親子の道横切る

金子 圭輔

間道に牛迷ひをり蒸し暑し

岩崎 真人

芽吹く古樹塩に清めて伐採す

小宮 勉

自肅籠りの窓開け放ち今朝の夏

谷内 真里

栗の花長き雄花の葉を覆ふ

千野さき子

ひと休みベンチの下に母子草

岡部富美子

新聞紙敷きあり軒の燕かな

土屋 厚子

野歩きの足踏む蓬匂ひけり

初雁 功子

朝日射す青梅のつや挽ぎにけり

山田 美子

白石短歌会

うぐひすと時鳥との合唱に

しばしコロナを忘れて和む

渡邊美枝子

氏神の森でほととぎすしきり啼く

坂本 美江

新緑の萌える中に一本の

心とらぐ唐楓柔し

白石 礼子

川風と桜木陰の贈りもの

ゲートボールの集い健やか

渡邊阿里子



(皆谷ゲートボール場に於いて)

人権シリーズ

369

『新型コロナウイルス感染症から見えたもの』

新型コロナウイルス感染症は、昨年12月に中国武漢市において確認され、その後、急速に感染拡大して世界的な大流行となった。日本では4月7日に非常事態宣言が発令され不要不急の外出自粛の要請がなされた。結果5月25日に解除されたが、新型コロナウイルスの感染が完全に終息したわけではなく、今後再発するであろう第二波に向け注意が必要である。

新型コロナウイルス感染症については解明されていない部分が多い。感染してもほとんどの方は軽症もしくは無症状で経過し回復するが、一部の方は重篤化し死に至ることもある。毎日のように感染者数と死者数が報道されており、感染症に対する危機感を抱くことは大切だが、過度に反応し不安を増長することで問題は発生する。

例えば、感染者や医療従事者、さらにその方の家族に対する誹謗中傷などが見られた。知らぬうちに感染してしまつた方、感染への不安を感じながら仕事をしている方に対して何ら根拠なく差別や偏見がされている。もし自身が感染した場合、医療機関で治療を受ける。そのことも考えて発言できないものだろうか。中には、多くの方を感染から守る正義感から個人を攻撃するケースもあった。

人は不安が募るとき自分に有意な情報を求め、無意識に差別や偏見をしてしまうことがある。情報が散乱する社会において社会から排斥されている人たちを意識し、情報を選択し行動することが大切だと思う。

東秩父村議会事務局長 山崎 充弘